

受験者の皆様へ

日本国際教育支援協会では、日本語能力試験・日本語教育能力検定試験の実施にあたって、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策として、下記の対応を予定しています。

会場における感染予防対策

- 試験官・会場スタッフは、試験当日、検温及びヘルスチェック表で体調に問題ないことを確認の上、勤務にあたります。
- 試験官・会場スタッフは、全員マスクを着用し、必要に応じて、ビニール製の手袋を着用いたします。
- 試験会場では、机、椅子、ドアノブ等のアルコール消毒を実施し、会場入り口にはアルコール消毒液を設置いたします。
個人用のアルコール消毒液、ビニール手袋(透明)の会場への持ち込みは認めます。
- 試験会場はソーシャルディスタンスを考慮した座席配置とし、受験者間の距離を確保するようにしています。
- 会場内の窓開け、ドア開放等により、換気を行います。
- 会場内では、飛沫感染を避けるため、口頭での説明案内は最小限に留めます。

受験者の皆様へお願い

- 試験当日は必ず「自己ヘルスチェック表」でご自身の健康状態を確認の上、受験会場で提出してください。
- 体調不良、体調に不安のある方は受験をお控えください。
- 試験会場内では必ずマスクを着用してください。マスクを着用されない場合は受験いただけません。
(本人確認の際には一時的にマスクを外していただきますので、ご了承ください。)
- 手洗い、手指のアルコール消毒を励行してください。
- 会場内では会話は最小限とし、他の受験者とは適度な距離をお取りください。
- 会場内の窓開け、ドア開放等により、換気を行いますので、室温の高低に対応できるよう服装にご注意ください。
- 密集を避けるため、受験者のみの来場をお願いいたします。同伴者のための控室はありません。
また、密集を避けるため、会場入り口近辺での待ち合わせはご遠慮ください。
- 試験会場において、感染症に感染された方が確認された場合、法令に基づき受験者の個人情報(連絡先)を保健所等公的機関に提供することがあります。あらかじめご了承ください。
- 試験日から14日以内に、発熱(37.5℃以上)が数日続く、あるいは新型コロナウイルス感染症陽性と判明した場合は、本協会までご連絡ください。

以上